

入院基本料について

03-01

B館4階は『回復期リハビリテーション病棟入院料1』を届出している病棟です。
看護配置数は以下の通りです。

当病棟では、
1日に 9人以上の看護職員（看護師及び准看護師）
4人以上の看護補助者

が勤務しております。

なお、時間帯毎の配置は次のとおりです。

- ・深夜0時～朝8時30分まで、
看護職員 1人当たりの受け持ち数は19人以内です。
看護補助者 1人当たりの受け持ち数は38人以内です。
- ・朝8時30分～夕方17時まで、
看護職員 1人当たりの受け持ち数は 8人以内です。
看護補助者 1人当たりの受け持ち数は19人以内です。
- ・夕方17時～深夜0時まで、
看護職員 1人当たりの受け持ち数は19人以内です。
看護補助者 1人当たりの受け持ち数は38人以内です。

※1日平均入院患者数38名（R6.6～R7.5実績）で計算しています。

回復期リハビリテーション病棟入院料に関する事項

令和7年4月から令和7年6月までの回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者さまの数
4月 27名 / 5月 17名 / 6月 20名 / 合計 64名

当該退棟患者数の回復期リハビリテーションを要する状態の区分内訳

1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2か月以内 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍	28名
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等2か月以内	29名
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2か月以内	7名
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後1か月以内	0名
5	股関節又は膝関節の置換術後1か月以内	0名
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名

回復期リハビリテーション病棟における直近の実績指数 ※

4月 57.11 / 5月 67.64 / 6月 72.46

※実績指数 = $\frac{\sum (\text{退棟時のFIM運動項目の得点} - \text{入棟時のFIM運動項目の得点})}{\sum (\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者さまの入棟時の状態に応じた算定上限日数})} > 40$

編許	号
年 月 日より	
年 月 日まで	
更新 無期限	
総務課	

令和7年7月1日
イムス富士見総合病院 病院長